

あしたがすてきに！



## 第153期 第2四半期

2023年4月1日～2023年9月30日

### 東邦ガスレポート

〈目次〉

社長メッセージ	01
業績の推移(連結)	02
トピックス	03
株主さまへのご案内	05
株式の状況、株主還元、株主メモ	裏表紙

東邦瓦斯株式会社

証券コード 9533

## 社長メッセージ

## 株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より当社グループの事業運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社グループの2024年3月期第2四半期の業績をご報告申し上げます。

2023年9月末の都市ガスのお客さま数は、前期末と比べ1万件増加し、LPGと電気のお客さま数も増加したことにより、都市ガス・LPG・電気を合計したエネルギーお客さま数は4万2千件増の296万3千件となりました。

ガス販売量は、高気温による家庭用販売量の減少や業務用お客さま先設備の稼働減の影響などにより前年同期と比べ3.6%減少しました。また、LPGの販売量も3.7%減少しましたが、電気の販売量は11.9%の増加となりました。

売上高は、前年同期比19億円減の3,009億円となりましたが、原材料費と売上高の期ずれ影響が差益となったことなどにより、経常利益は221億円増の319億円、親会社株主に帰属する純利益は177億円増の245億円となりました。

なお、第3四半期以降、期ずれ影響が差損に転じることなどにより、年間の経常利益は290億円、親会社株主に帰属する純利益は220億円となる見通しです。



代表取締役社長

増田信之

中間配当金は、前期末配当金と同じく1株につき30円とさせていただきます。年間配当金は前期と同じく60円を予定しています。

さて、カーボンニュートラルの進展によるエネルギー需要構造の変化、お客さまのライフスタイルや価値観の変化など、エネルギー事業者として乗り越えなければならない変化が次々と起きています。

こうした中、当社グループは、中期経営計画に沿って、エネルギーお客さま数300万件の早期達成を目指すとともに、カーボンニュートラルの実現に向けた取組みなどを着実に進めています。

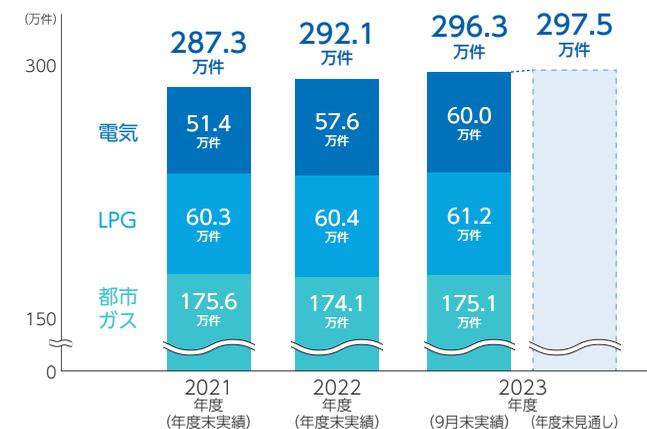
今後も、地域とともに成長するという基本姿勢を守りながら、事業領域拡大へのチャレンジを続け、企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆さまには、より一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 業績の推移(連結)

## 1 エネルギーお客さま数・販売量

## (1) お客さま数



※1 「エネルギーお客さま数」は、都市ガス・LPG・電気のお客さま数の合計(延べ契約件数)

※2 「都市ガス」「電気」のお客さま数は、小売契約件数

※3 「LPG」のお客さま数には、他LPG事業者からの配送受託分を含む

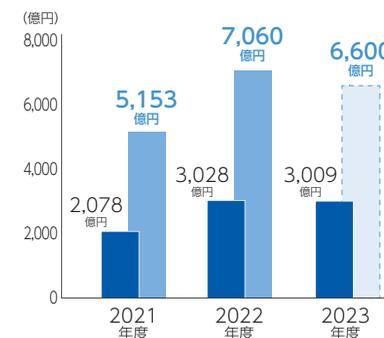
## (2) 販売量

	2021年度	2022年度	2023年度	
	(年間実績)	(年間実績)	(4~9月実績)	(年間見通し)
都市ガス	36.1 億m <sup>3</sup>	34.5 億m <sup>3</sup>	16.0 億m <sup>3</sup>	34.5 億m <sup>3</sup>
LPG	48.6 万トン	47.5 万トン	20.6 万トン	47.5 万トン
電気	21.3 億kWh	23.7 億kWh	12.4 億kWh	24.9 億kWh

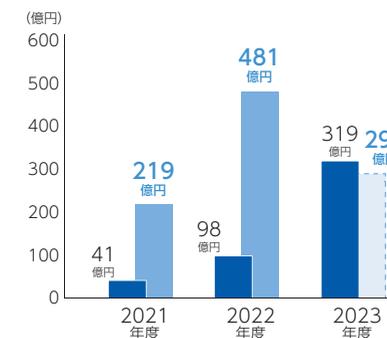
## 2 連結収支

■ 第2四半期(4~9月)実績 ■ 年間実績 ■ 年間見通し

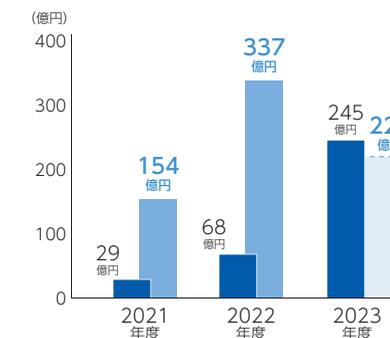
## (1) 売上高



## (2) 経常利益



## (3) 親会社株主に帰属する純利益



より詳しい決算情報はこちらからご覧ください。

東邦ガス IR

検索



## トピックス

## 販売ブランド「東邦ガス暮らし」の立ち上げについて

「お客さま一人ひとりに寄り添う暮らしのパートナーとなり、理想の暮らしの実現をサポートしていきたい」との思いを込め、本年10月、家庭用分野の新たな販売ブランド「東邦ガス暮らし」を立ち上げました。

これに伴い、当社のサービス店である「リベナス エネドゥ」「エネドゥ」は「東邦ガス暮らしショップ」に、家庭用お客さま向けのショールームは「東邦ガス暮らし体験館」に、ECサイトは「東邦ガス暮らし創庫」「東邦ガス暮らしWebショップ」に改称し、暮らし関連の商品・サービスを拡充してまいります。

当社グループは、新たな販売ブランドのもと、お客さまの暮らしのパートナーとして、多様なニーズにお応えしてまいります。

東邦ガス  
暮らし

詳しくはこちら



## 〈ご参考〉家庭用分野における新体制について

当社グループは、新たな販売ブランドの立ち上げとともに、家庭用の営業部門とサポート部門を再編し、2つの子会社が担う新体制を本年10月にスタートさせました。



## カーボンニュートラルの実現に向けて ～お客さま先の低・脱炭素化の推進～

当社グループでは、メタネーションやCO<sub>2</sub>分離回収など将来のガス自体の脱炭素化に向けた技術革新に取り組むとともに、足元から、都市ガスへの燃料転換や、ガスのお客さまのカーボンニュートラル実現をワンストップで支援する「CN×P事業」などにより、お客さま先の低・脱炭素化を推進しています。



## ■お客さま先の低・脱炭素化に向けたサービスのご紹介

CO<sub>2</sub>排出量を見える化する  
新たなサービスの提供

当社とセレンディップ・ホールディングス株式会社は、お客さまの設備単位、製品単位のCO<sub>2</sub>排出量を見える化するサービス「GreenConnex(グリコネ)※」を提供しています。※商標登録出願中

本サービスのご利用により、CO<sub>2</sub>排出量を見える化し、課題抽出、現場改善につなげることで、お客さまのカーボンニュートラル実現を支援します。



▲生産日報やCO<sub>2</sub>排出量データから製品単位で見える化

## お客さまの水素利用の支援



当社は、将来の水素利用の拡大に向け、部品の脱着交換のみで都市ガスから水素への燃料切替が可能な「水素・都市ガス兼用バーナー」を開発し、お客さまへの提案を行っています。

また、当社技術研究所では、バーナーや工業炉の水素燃焼試験サービスを拡充し、お客さまの水素利用に向けた検討を支援しています。



▲水素・都市ガス兼用バーナー



▲水素燃焼試験フィールド

## 〈ご参考〉「CN×P」事業とは

エネルギーのProfessionalである当社グループが、コンサルティングからエンジニアリングまでワンストップのPackageで支援し、カーボンニュートラル(CN)を目指すPartnerとして、お客さまと一緒に取り組むサービスです。



詳しくはこちら



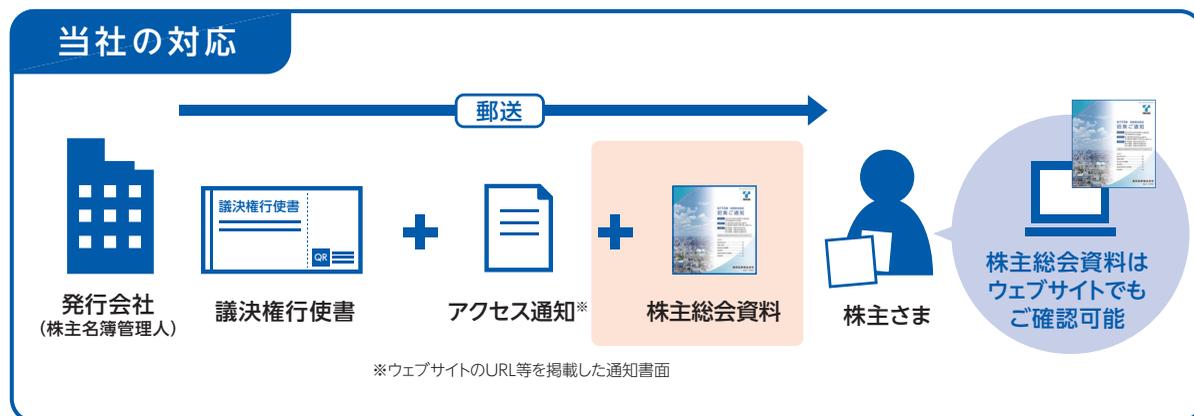
# 株主さまへのご案内

## 1 次回定時株主総会資料の提供方法について

2022年9月の会社法改正により、株主総会資料の電子提供制度が開始されています。

当社では、2024年6月開催予定の次回定時株主総会の資料につきましても、当社ウェブサイトでの電子提供に加え、議決権を有する株主さまに、本年6月開催の株主総会と同様の書面\*を一律に郵送させていただきます。

\*計算書類の株主資本等変動計算書や個別注記表など一部の資料については、書面の郵送はいたしません。



電子提供制度に関する  
お問い合わせ先  
(書面交付請求のお申し出先)

[株主名簿管理人]  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電子提供制度専用ダイヤル **0120-696-505**  
(受付時間 土・日・祝日を除く平日9:00~17:00)

(注)書面交付請求は、当社株式の保有口座を開設している証券会社を通じたお手続きも可能です。その場合は、証券会社に直接お問い合わせください。

## 2 次回定時株主総会の会場について

2024年6月に開催予定の第153期定時株主総会の会場について、前回(第152期)会場とした「名古屋国際会議場」から「名古屋市公会堂」に変更することを予定しています。

詳細につきましては、2024年6月に発送予定の「第153期定時株主総会 招集ご通知」でご案内いたします。

〈ご参考〉  
**名古屋市公会堂のご案内**  
名古屋市昭和区鶴舞一丁目1番3号

公共交通機関のご案内

- 地下鉄鶴舞線「鶴舞駅」下車  
4番出口より徒歩2分
- JR中央本線「鶴舞駅」下車  
公園口より徒歩2分
- 市バス「鶴舞公園」下車  
徒歩3分



## 3 「東邦ガスグループ 統合レポート2023」について

当社は、本年8月、「東邦ガスグループ 統合レポート2023」を発行しました。本レポートでは財務情報や中期経営計画の進捗状況に加え、カーボンニュートラルの実現や人的資本の強化に向けた取組みなどの非財務情報についての記載を充実させていますので、ぜひご覧ください。



詳しくはこちら



## 株式の状況 (2023年9月30日現在)

### ■発行済株式数および株主数

発行可能株式総数…………… 160,000,000株  
発行済株式の総数…………… 105,256,285株  
株主数…………… 29,099名  
(2023年3月期末比319名増加)

### ■大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	11,810 <sup>千株</sup>	11.23 <sup>%</sup>
日本生命保険相互会社	5,506	5.23
株式会社三井住友銀行	3,304	3.14
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,254	3.09
株式会社三菱UFJ銀行	2,872	2.73
桜和投資会	2,234	2.12
第一生命保険株式会社	2,143	2.03
明治安田生命保険相互会社	1,841	1.75
東邦ガス共栄持株会	1,567	1.49
株式会社クボタ	1,439	1.36

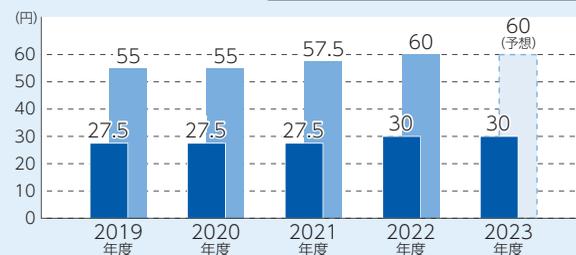
(注) 持株比率は、自己株式(113,580株)を控除して計算しております。

## 株主還元

### ■基本方針

株主還元については、安定配当をベースに、機動的な自己株取得・消却と合わせ、中長期的に連結当期純利益の4~5割を目安として実施することを基本方針としています。

### ■1株当たり配当金



### ■総還元性向



## 株主メモ

事業年度: 4月1日~翌年3月31日

定時株主総会: 毎年6月

配当金受領株主確定日: 期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

上場金融商品取引所: 東京証券取引所 プライム市場  
名古屋証券取引所 プレミア市場

公告方法: 電子公告  
公告掲載アドレス

[https://www.tohogas.co.jp/ir\\_index/k/](https://www.tohogas.co.jp/ir_index/k/)

※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、中日新聞に掲載します。

株主名簿管理人および特別口座管理機関:

**三菱UFJ信託銀行株式会社**

[同連絡先]

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1

☎ **0120-232-711 (通話料無料)**

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

[同郵送先]

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部